

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 門真市
 実践研究校名 門真市立第七中学校
門真市立二島小学校
門真市立五月田小学校

【公開授業】公開日 : 平成26年2月5日
 対象学年 : 小学校6年生、中学校1年生

<p>(教材・教科書名)</p> <p>《総復習》</p> <p>Hi, friends! 1</p> <p>L.1:Hello! L.2: I'm happy. L.3:How many? L.4:I like apples. L.5:What do you like? L.6: What do you want? L.7: What's this? L.8: I study Japanese. L.9:What would you like?</p> <p>Hi, friends!2</p> <p>L1.: Do you have "a"? L2.:When is your birthday? L3: I can swim. L4.: Turn right. L5.:Let's go to Italy. L6.: What time do you get up? L7.:We are good friends.</p>	<p>(本時の指導の目標)</p> <p>外国語活動で学んだ内容の復習を図り、それらを用いた活動を行うことで、小・中学校児童生徒間のコミュニケーションを深める</p>
--	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・小中学生が一つのグループ(6~7名)を形成し、互いに相手を知る機会を設けた。
- ・活動ごとに移動があり、授業時間内で終わるよう、教師間での共有に時間をかけた。
- ・それぞれのグループで取組んだ成果が、最後にまとまる事でつながりを感じる工夫を行った。

(授業後を終えた教員の感想)

- ・初対面の友だち、先生ということで子どもたちも緊張していたと思います。もう少し落ち着いてできれば良かった。
- ・初めて関わる児童・生徒に授業をするのは、難しかった。事前に教員が模擬授業で行うのと子どもが実際するのでは、かかる時間が全然ちがうと感じました。
- ・ゲームの説明や指示など、英語で行うのは難しかった。しかし良い経験になった。
- ・中学生の成長に驚いた。まとめ活動の司会をした生徒はとても良かった。
- ・小中3校の全職員が取組んだことに、大変意義のある機会であった。

【研究協議会】

(テーマ) 「 $2+5=7$ ～七色の虹へGo!!～ 二島、五月田から七中へと虹の架け橋をつくろう」	(指導・助言者) 関西外国語大学 松宮 新吾 教授
---	---------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- 小学校での文字の扱いについて、大変参考になった。
- 中学校の前倒しではなく、小学校で外国語活動に取り組む意義を確認できた。

(まとめ)

- 教えられるだけよりも学んだ事を教える事の方が、記憶にはより効果的である。
- レベルを上げた活動は、より経験値のある児童・生徒（今回は中学生）を活用することで、高い学習効果となりえる。
- 「音」の情報だけでなく「文字」による情報を与えることで、より深い学習効果が得られる。
- 小学生にとって中学生と英語の授業を行うことは、中学生になるにあたってとても良い経験になった。
- 普段の授業で行っていることを、実際に使うよい機会だった。